

# 県中理研可茂大会に向けて

R5. 6. 9

## (1) 各委員会の仕事内容について (主に事務局所属の先生が行うこと)

### 《 運営委員会 》

＜大会当日まで及び当日＞

- ・会場および備品の借用
- ・対外文書作成、発送
- ・当日までの会議計画作成
- ・当日までの準備内容と分担
- ・前日の準備計画および分担
- ・大会当日の日程詳細
- ・当日の諸係の決定および動き
- ・封筒作成および袋詰め (各委員会と協力)
- ・司会者、記録者の依頼
- ・前日および当日の諸係への協力
- ・会計

### 《 授業研究委員会 》

- ・市教研等の授業研究会の開催
- ・研究授業案検討
- ・指導案綴り製作
- ・発表校会場準備
- ・研究授業公開

### 《 会場づくり委員会 》

- ・会場運営計画と推進
- ・全体会場準備、設営
- ・交通案内板等準備、設営
- ・授業会場、全体会場駐車場役割分担運営

## ※ 可茂地区会員の役割について

### 授業研究委員会での動き

- ・市郡教科研において、他市他郡の教科の先生の指導案を見て一緒に研究を行っていく。
- ・指導案は、授業研究会の日程案内とともに担当地区の部長が、主務者または研推長に送付する。
- ・主務または研推長は、別地区の部長に送付する。
- ・別地区の部長は自分の所属している市郡の学校に送付する。
- ・各校の会員は、授業研究会に参加できる場合は直接研究会に参加する。
- ・参加できない場合は、指導案を見た上で生じた質問や意見を、主務者に連絡する。
- ・主務者が取りまとめて、研究会にて伝達を行う。(主務者が参加できない場合は研推長)

### 会場づくりの動き

- ・事務局で、必要な道具や機材の確保を行う。
- ・準備を行う日の日程を、各市郡の部長に連絡する。
- ・各市郡の部長は、自分の所属している市郡の学校へ連絡内容を伝達する。
- ・協力できる会員で各研究会場の準備を行う。

## ※ 出張旅費について

お忙しい中活動していただくこととなりますので、十分な旅費を準備するところが本意ではありますが、本会の運営が自主活動を基本としていることから、県中理研の費用でまかっています。予算の中から旅費支給をさせていただきます。

(3) 今後のスケジュール

年	月	全体・企画委員会	内容
R5	1	・中理研常任委員会	・組織と今後の活動計画の方向の報告
	3		可茂地区大会運営組織の決定、授業者候補の選出決定。
	5	・県中理科研常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容と見通し</li> <li>・研究構想検討</li> <li>・授業指導案作成依頼</li> <li>・各中学校会場、全大会会場運営の検討、作成スケジュール</li> <li>・可茂大会の方向性提案</li> </ul>
	8	・拡大運営委員会①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討委員会（内容・流れ・形式）</li> <li>・各中学校会場、全大会会場運営の検討</li> </ul>
	10 12	・市教研 対面参加のみで、 授業で行いたい。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           授業研究会            可児市・可児郡 ⇒ 12月6日            美濃加茂市・加茂郡 ⇒ 10月17日         </div> 中理研の先生方にも案内を配布し、授業研究会に参加してもらおう。
R6	1	・拡大運営委員会② ・中理研常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会進捗状況の交流</li> <li>・R5年度の成果報告と大会本番に向けての方向性の報告</li> </ul>
	5	・事前案内（一次案内）送付	・授業者と会場の入ったもの
	8	拡大運営委員会④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討委員会（内容・流れ・形式）</li> <li>・授業案最終検討</li> </ul>
	9		・授業者指導案完成
	10	・二次案内送付	・授業指導案、会場案内図の入ったもの。
	11	・印刷、袋詰め  ・県大会本番	・当日の動き完成

#### (4) 各委員会の、「今後の見通し」と、「活動内容」について

##### ア、授業研究委員会

研究授業について

- ・『「理科の勉強が好き・楽しい」と実感できる理科指導』  
～“科学的な探究”と“つなぐ指導”を通して～
- ・可茂地区の先輩方の活用
- ・指導案づくり  
作成のイメージ

⇒ 授業者が指導案作成
⇒ 授業者が指導主事・主務・可児市郡の学校へ送信
⇒ 主務者、中理研・美濃加茂市・加茂郡の学校へ指導案送信（中理研のHP利用?）
⇒ 美濃加茂市・加茂郡の先生の質問や意見を主務が集約
⇒ 指導案検討会の際に、主務者が会に参加できない先生の意見を伝達

- ・指導案の形式
- ・授業公開について  
(案) 指導案を中理研のHPにアップ→ダウンロードできる形にする。  
(感染軽微) 参加人数を制限し、リモートで授業公開する。  
(感染拡大) 授業を録画→HPにアップ→報告書を配付

##### イ、会場づくり委員会

- ・会場準備に関わって（案内掲示等）
- ・会場校、文化会館の会場図や割り振り

#### (5) 今後行うこと

##### 1. 顧問について（担当：可茂地区主務、県中理科研主務）

可茂地区の担当者と、県中理科研担当者の方が連絡をとって進めていけるように、担当者の決定をお願いしたいです。

##### 2. 後援について（担当：可茂地区主務 ⇒ 会長へ依頼）

前回は東濃地区5市すべてに後援を依頼。

今回も可茂地区の後援を依頼。

##### 3. 各市の教育長ならびに教育委員会への挨拶（担当：可茂地区主務 ⇒ 会長へ依頼）

##### 4. 実践について（担当：可茂地区主務 ⇒ 周知、案内 可茂地区研推長 ⇒ 研究内容）

市教研の授業案、実践を各支部長に送付 → 各市へ配付

（進行状況を伝え、各市で県大会への気概を高める）

##### 5. 会の在り方について

※東濃大会の全体会は、各授業公開の会場から、オンラインで行った。

※可茂地区大会において、県の方向としては、現地での公開+オンライン配信のハイブリット方式を検討。ただ、コロナ対応がインフルエンザと同様になったので、オンラインはなくても良いのではないかとも考えられる。今年度中には方向性を決定する。

もし、オンライン配信を行うとしたときは以下のように進める。

⇒オンライン配信と機材を担ってもらえる業者の選定の開始

⇒R3東濃大会では（株）コアテック様と連携し、授業風景を2カメラで撮影し、その映像を上記のセッションで共有することでライブ配信での参観を行った。

⇒R3東濃大会において、「Cisco meeting」からミーティング番号及びパスワードを入力して会議に参加。「ブレイクアウトセッションの共有」のタブをクリックし、希望の会場を選択し、閲覧した。

※主な費用（3年で90万円）の使用先として

1. 全体会会場利用代
2. 各会場での看板案内印刷代
3. 授業者指導案印刷代
4. 授業者の公開授業に向けての教材代
5. オンライン配信業者利用代

各学校への可茂地区大会への案内などはメールなどで行い、印刷代への負担を減らし、他の費用に充てていく。
--